

こどもたちの
未来のために…

株式会社ファミリーマート
<https://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう

検索

ファミリーマート
ありがとうの12th
手紙^{でがみ}コンテスト

最優秀作品賞
受賞作品集
2020



ご報告にあたって

この度は、『ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2020』に作品応募をいただき、誠にありがとうございました。

本コンテストは2009年より、「地域社会をファミリー(家族)」と考える私たちファミリーマートが地域社会の宝であることもたちの成長を応援する取り組みとしてスタートし、今年度で12回目を迎えます。

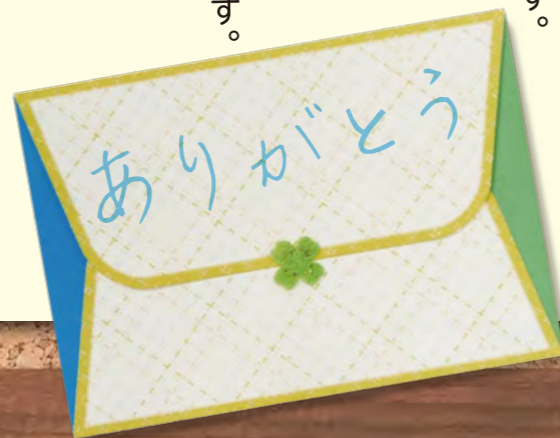
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、こどもたちは休校、夏休みの短縮など今までに経験のない状況にありましたが、有難いことに、全国から29,429通という大変多くのご応募をいただきました。先生方、保護者の皆さまをはじめ関係各位に改めて感謝申し上げます。

いずれの作品からも、日常生活が大きく変わったことにこどもたちが正面から向き合う姿を見て取ることができるとともに自分や家族を支えてくれるエッセンシャルワーカーの皆さん、命と向き合う医療従事者の方々へのやさしい気持ちに勇気づけられました。この場を借りて心からの「ありがとう」を伝えたいと思います。ぜひ皆さまもこどもたちの思いが込められた心温まる手紙をお読みいただき、豊かな感性に触れていただければ幸いです。

「ありがとう」という言葉は、感謝を伝えるだけでなく、伝えられた人も幸せな気持ちにしてくれる素晴らしい言葉です。本コンテストが、未来を担うこどもたちの豊かな心を育て、感謝の気持ちを大切に「ありがとう」という言葉が行きかう持続可能な地域社会づくりに貢献できれば嬉しく思います。今後も皆さまに愛されるような企画として回を重ねていきますよう努力してまいります。

令和3年1月吉日

株式会社ファミリーマート
代表取締役社長 澤田 貴司



主催：株式会社ファミリーマート

後援：文部科学省 全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 / 全国小学校国語教育研究会 / 全国小学校道徳教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 生活科教育研究会 / 株式会社教育新聞社

ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2020

今年度12回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国19,526校・630万児童に向けてご案内し、結果7月1日から10月31日の約4ヶ月の間で、応募総数29,429通にも上る心あたま作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員特別賞全35作品、学校団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。(https://www.family.co.jp/arigatou2020)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介……………4
- 審査員特別賞受賞作品紹介……………25
- 学校団体賞受賞校・団体紹介……………32

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これからの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- その他の活動……………33

実施概要

| | | | |
|--------|--|---------------------|------------|
| 応募期間 | 2020年7月1日(水)～10月31日(土) | 応募資格 | 小学校1年生～6年生 |
| 審査 | 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定 | | |
| 最終審査会 | 2020年12月4日(金) | | |
| 最優秀作品賞 | 低学年部門(1・2年生)各ブロック1名 合計7名 中学年部門(3・4年生)各ブロック1名 合計7名 高学年部門(5・6年生)各ブロック1名 合計7名 | ※全国を7ブロックに分割し、審査を実施 | |
| 審査員特別賞 | 各ブロック5名 合計35名 | | |
| 学校団体賞 | 各ブロック1校・団体 合計7校・団体 | 応募総数 | 29,429通 |

審査員講評



審査員長

池上 彰
ジャーナリスト

今年は夏休みが短くなったことなども影響して、応募数は昨年に及びませんでした。内容としては素晴らしいものがたくさん寄せられました。審査をする中でみなさんの票がわかることが多かったのも、それだけレベルが高いものがそろっていた現れでしょう。例えば宅配便の方やごみ収集の方など、いわゆるエッセンシャルワーカーへ目が向いたのも今年ならではのことと思います。毎日を支えてくれる身近な人たちへの感謝を見つけることもたちのやさしい気持ちを感じ、とてもうれしく思いました。



審査員

児童文学作家、
日本児童文学者協会会員
いとう みく

いつもと違う日常のなかで、子どもたちはどんな手紙を書いているだろう。期待とほんの少しの心配もしつつ、最終選考の作品を受け取りました。医療従事者など新型コロナに関連する方への「ありがとう」も多く、今を生きる子どもたちならではの思いを感じました。一方、家族、友だち、先生、身のまわりの道具など、コロナ禍にあっても変わらない「ありがとう」も多く、子どもたちのしなやかな感性を感じました。手紙は言葉にしにくい自分の思いを紐解いて、相手にそれを伝える行為でもあるんですね。あらためて、手紙っていいなと思いました。たくさんの「ありがとう」をありがとう！



審査員

株式会社小峰書店
代表取締役社長
小峰 広一郎

今年は学校や家庭での生活が大きく変わり、我慢を強いられる日々を過ごしたことからと思います。そのような環境のなか、子どもたちが普段は当たり前だと思っていたこと、何気なく接していた身近な人々についてよく観察し、じっくりと考えることで新たな気づきを得たことが、多くの手紙から感じ取ることができました。斬新な視点で物事をとらえる観察力や、自分の気持ちを伝える表現力は素晴らしいものがありました。大変な状況であったからこそ得ることができた経験を糧に、前を向いて成長している子どもたちの姿が手紙の向こう側に見えるようでした。



審査員

作家、日本ペンクラブ
「子どもの本委員会」メンバー
野中 柊

昨年に引き続き、審査員を務めさせていただきましたが、このたびは、やはり新型コロナウイルスが子どもたちの暮らしにさまざまな影響を及ぼしていることが感じられました。不安や淋しさもあったでしょう。でも、ささやかなことにも「感謝の種」を見つけて、伸びやかに瑞々しい言葉を綴り、可愛らしくも生命力に満ちた（ありがとうの花）を咲かせているのが印象的でした。何があるかと困難も糧にして、子どもたちは力強く成長していくのだと思うと、頼もしくもありました。私自身、そんな手紙の数々に励まされ、希望を見出したように感じています。あたたかな気持ちがあふれた手紙を一生懸命書いてくれた子どもたちに、心から感謝しています。



審査員

株式会社ファミリーマート
執行役員 CAO(兼)管理本部長
垣見 俊之

まず初めに、今年も29,429通という大変多くのご応募を頂戴しましたことをこの場をお借りして心より御礼申し上げます。今年は新型コロナウイルス感染拡大により、学校休業などかつてない大きな困難に直面し、子どもたちにとって様々な思いがあったことと思います。今年はいじめて審査に参加させていただきましたが、いずれの作品にも様々な方々への感謝の思いがこめられており、子どもたちの感性や表現力、視点の素晴らしさに勇気づけられました。この場をお借りしてご応募いただいた全ての子どもたちに感謝の気持ちを贈りたいと思います。引き続き本コンテストを開催して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



わたしは、ありがとうをたくさん書いた人外は、
それは、わたしのおとうさんです。
おとうさんは、大きいトラックで、
にもつをはこびしごとをしています。
にもつをうけとる人によるこんで
もらえるように、よなかにうてんをして、
早くとどけられるようにしています。
あつし夏も、さむいふゆもおとう
さんはトラックで、にもつをはこび
ます。
しごとで、いそがしいおとうさんで
すか、イ木みの日は、わたしのしゅく
たいを見てください、そとであそんで、
り、いしょにいてくれます。
つづけているのに、おとうさんのいかんをつ
つづけて、ありがとう。
そんなやさしいおとうさんが、大好きです。
ゆうめより



審査員から

父への気持ちがあふれる作品。
エピソードを織り交ぜた文章から、いつも忙しく
大切なものを運ぶ仕事をしていることへの
尊敬と感謝の気持ちがとてもよく伝わってくる。
構図も効果的。

北海道・東北ブロック

最優秀作品賞

低
学年の部

鈴木 優芽さん(2年)
郡山市立喜久田小学校

滋賀県の大ざわさんへ

大ざわさん、いつも野菜を送ってくださりありがとうございます。
わたしの住む福島県は、東日本大震災のえいきょうで野菜を作る土がおせんされてしまい野菜が安全に食べられなかつたそうです。お寺のしょうかいで遠くはなれた滋賀県に住む大ざわさんから野菜をしえんしてもらえることとなりました。今まで約8年間も大ざわさんが作ってくださる新せんな野菜を毎日食べつづけたおかげで、今、けんこうなわたしがいるのだと思います。
わたしがまだ小さいころ、野菜が苦手な好ききらいが多く、お母さんはいつも心配していましたが、大ざわさんが作る野菜は不しぎともりもり食べました。
時どき虫がついていてびくりにするけれど、「虫が食べに来てくれるほどおいしいのよ」と、お母さんは、教えてくれます。
これからも好ききらいしないでたくさん食べてコロナウイルスに負けない体を作りたいと思います。大ざわさん、福島わたしたちのことをずっと想ってくれてありがとうございます。

千花子より



審査員から

いつも遠方から野菜を送ってくれる方との交流がのびやかに書かれている作品。野菜を通して自分の健康を支えてくれることへの感謝の気持ちを素直に表している。

北海道・東北ブロック

最優秀作品賞

中
学年の部

わかまつ ちかこ
若松 千花子さん(4年)
いわき市立中央台南小学校

お父さんへ
お父さん、いつも僕を支えてくれてありがとう。お母さんに叱られた時や学校の事で小凶んだ時も一緒に考えてくれるよね。僕は、心強いです。最近、コロナウイルスの事でも、お父さんを尊敬します。
食品工場で働くお父さんは、家で仕事する事が出来なから毎日出勤して行くので心配でした。いつも通りに出勤して行くお父さんは、こんな時もみんなの食を支える仕事で休めないんだと思い、感謝と不安が、混じった気持ちで休校中を過ごしていたよ。

斗優より

今まで僕はお父さんの仕事は食べ物を作る仕事と簡単に思っていたよ。でも今、コロナの事で食を支えている仕事は、人が生きるための元だと思ってお父さんの仕事は、簡単な事じゃないんだと思ったよ。
いつも、僕達の食を支えてくれてありがとう。
食べる事が大好きな僕は、お父さんと料理するの大女子です。大人になったら、家でも外でもお父さんのように、何かで人を支えていける大人になれるようにがんばります。これからもアイズやおやつの取り合いをしながら楽しくすごそうね。いつもありがとう。

斗優より

審査員から

食品工場働く父の仕事、生きることを支える仕事として捉え直したことを通して、感謝の気持ちがつづられている。これからの決意も述べた頼もしい作品。

北海道・東北ブロック

最優秀作品賞

高
学年の部

きむら とうま
木村 斗優さん(6年)
八戸市立多賀台小学校



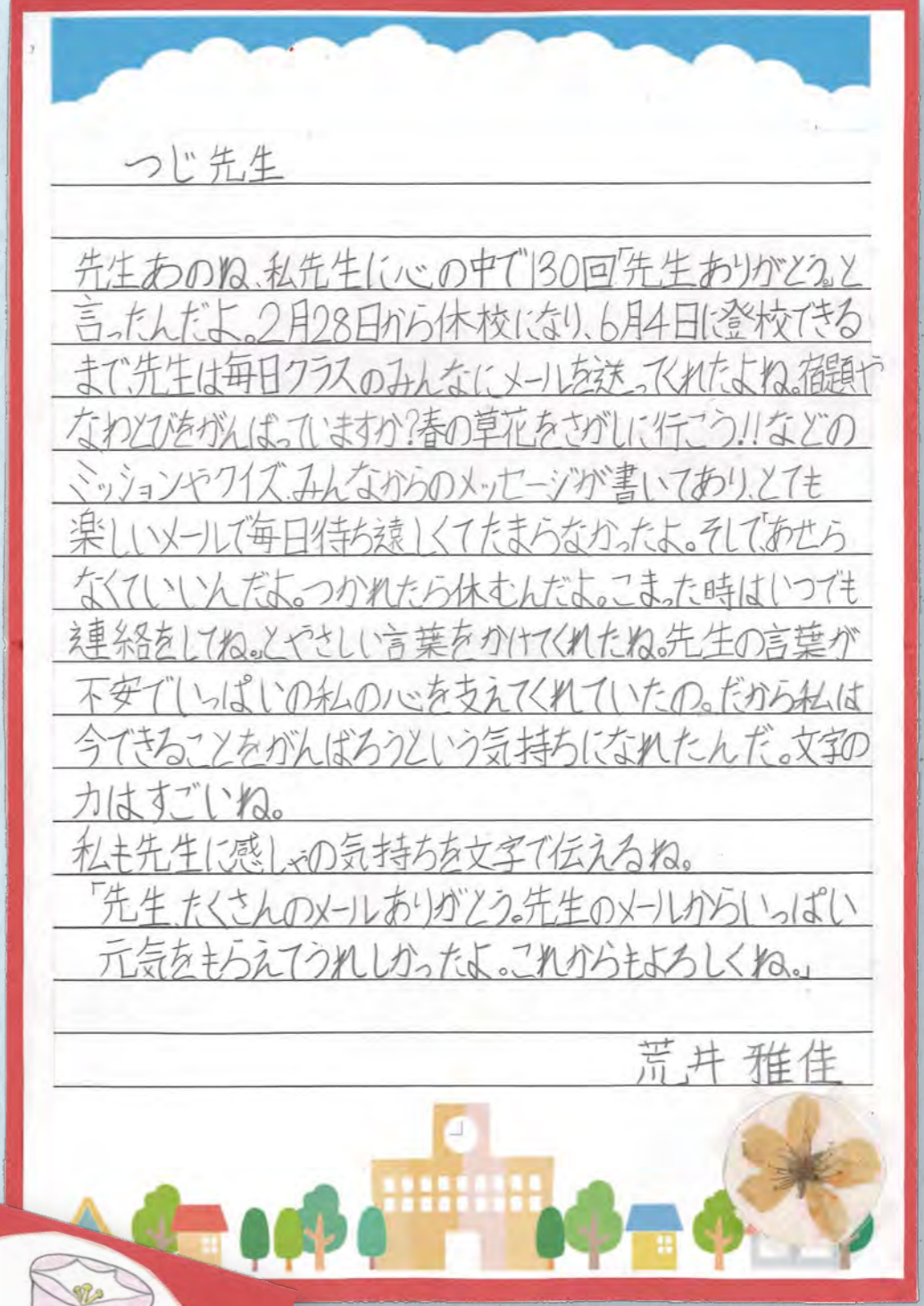
🌸 審査員から 🌸
 手紙や荷物を届けてくれる方に宛てた、
 改めて気づいた感謝の手紙。
 思うように会えない時期だからこそ感じる、
 手紙の存在の大切さを上手に描写している。

関東1ブロック

最優秀作品賞

低
学年の部

こまき あいこ
 小牧 愛子さん(2年)
 横浜市立文庫小学校



🌸 審査員から 🌸
 休校で不安が募る中、毎日メールを
 送ってくれた先生への手紙。
 励まされたり、気持ちが明るくなったり
 する様子が素直に書かれている。
 引用したメール原文も効果的。

関東1ブロック

最優秀作品賞

中
学年の部

あらい もとか
 荒井 雅佳さん(3年)
 筑波大学附属小学校



高島 葵さん

✿ 審査員から ✿

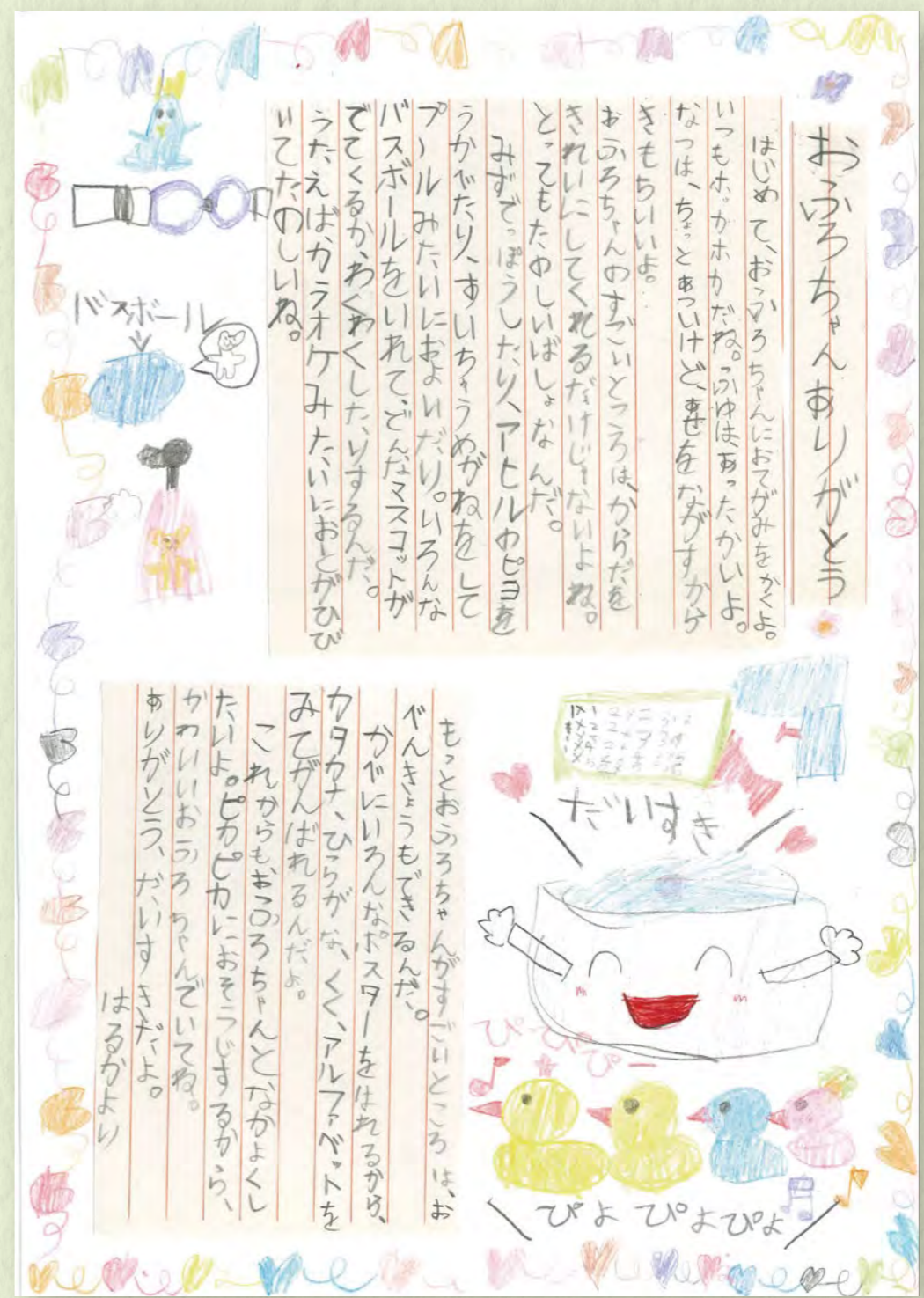
父親の分まで愛情をもって育ててくれた母に宛てた、なかなか言えなかった感謝の気持ち。書き出しの一節で引き込まれる作品。書き手の複雑な思いを感じ胸があつくなる。

関東1ブロック

最優秀作品賞

高学年の部

高島 葵さん(6年)
川崎市立大谷戸小学校



✿ 審査員から ✿

「お風呂ちゃん」と呼びかけ、毎日を楽ししてくれる存在として表現している1年生らしい手紙。お風呂の時間を笑顔で楽しむ姿が目に見えかぶ。

関東2ブロック

最優秀作品賞

低学年の部

吉永 陽香さん(1年)
八千代市立新木戸小学校

じいじ、毎年おいしいお米を作ってくれてありがとう。
 ぼくはじいじの作ってくれたごはんが大好きです。
 新米は特においしくておかずがなくても何はいても
 おかちりてきちよ。じいじが本を見て、おいしいお米の作り
 方をべん強していたり、ちき水でお米を作っていると聞
 いた時はびっくりしました。ぼくは、じいじがどかして
 いるから、おいしいお米ができるんだと思いました。
 ぼくは、今年、自分の家の庭で、プランターにいろ
 なえを植えて育ててみました。毎日プランターの水
 がなくなっていないか、かくにんして、水の調
 節をするのは大変でした。いなほに実が入っ
 てくるとスズメがきて、せかく育った実を食
 ってしまうのでスズメを追、はらったネットを
 かけたりしました。秋になって、いもかりをし
 たけれど、しうかくできたお米は、ちやくんはい
 分くらいでした。自分で実さいにお米を作ってみても大
 変なと思いました。じいじ体に気をつけてこれか
 らもおいしいお米作てね。

ゆうわより

✿ 審査員から ✿

おいしい米を送ってくれる祖父への手紙。
 単なる感謝にとどまらず、自分の手で
 米を作ることを通して体験した工夫や
 苦労から、感謝の気持ちを
 深めるという展開が素晴らしい。

関東2ブロック

最優秀作品賞

中
学年の部

かわなご ゆうわ
川那子 悠和さん(4年)
桜川市立岩瀬小学校

キッカーズのみんなへ



ぼくが始めてみんなとサッカーをしたのは、幼稚園の時だ
 ったね。息を集めてチームを作って、大会に出て走りまわった。
 すごく楽しいまま、メダルをもらった。すごくうれしかったのを覚えている。
 だから、小学生になったらみんながいるサッカーチームに入った。
 最初はみんなとサッカーをするだけで楽しかった。
 でも、だんだんと言試合に負けることが多くなっていった。一生けん
 命やっているのに、ゴールにはあこられるし、負けてしまうし、なんだか
 むかついてやるのがイヤになってしまった。ぼくは、一度ムかつくと、
 気持ちが悪くもどせない涙があふれて、サッカーどころい
 なくなる。なんだか、自分がイヤになってサッカーもやめたりな
 くる。
 でもそんな時、チームのみんながずっとぼくの気持ちがお
 ちづらのをまわっていてくれるんだ。
 ぼくは、みんなに「悪いな」と思いつつも、すぐには気持
 ちを変えられないで、うつむいていると、そばでたまに
 一緒にいてくれるやつが、何人もいる。そして、やと彦貞を上げ
 ることができた。ぼくを「ぼく、あきら、サッカーやるぞ」と言ってるように
 パスを回してくれる。せめたりあつたりするやつは、いもいない。優
 しい仲間がいっぱいいた。今コロナで言試合も練習も中止にな
 ってしまうことが、多い。ぼくたちは6年で最後の年だから最後の
 大会は絶対やりたい。そこでぼくたちはみんなで力を合わせて絶対
 勝ちつう。そしてみんなと、糸着に突っ込んで喜んで最後に今までこえて来て
 ありがとう。これからもよろしくな、と伝えよう あきらより

✿ 審査員から ✿

自分を待っていてくれた
 サッカーチームの仲間への手紙。
 自分の心を客観的に分析し、自身に
 向き合いチャレンジしている姿を
 6年生らしい表現力で書いている。

関東2ブロック

最優秀作品賞

高
学年の部

はせがわ あきら
長谷川 暉さん(6年)
利根町立文小学校

金大の先生とかなごしさんへ

よるにおとうさんがびょういんに行きました。ね
ているときにでん言吉がかがってき、びょうい
んに行ったら、さんきの手じつたと言われてひ
くりしました。金大に行ってみがえしつに行ったら
かなごしさんがもうかしてくれました。ふ
ゆだったのうれしかったアモヤさしくしてく
れたかなごしさん、ありがとうございます。まよ
中に手じつもしておひるまでかかったけ
ど、すつとがんばってくれたおいしゃさん、おと
うさんのいのちをたすけてくれてありがとうご
さいました。まよじつでは、おとうさんがなに
も言ってもしんけんいきいてくれてたくさん
おせわをしてくれてありがとうごさいまは、
今は元気にいっしょにあそんだりあでか

けができていまもありがとうございます。は
たりないくらいです。わたしも大きくなっ
たら人をたすけるしごとをしたいと思います
た。
いまはコロナで大へんだと思ひますが
おしごとがんばってください。

海ひつか あいな

ここを
あけてね♡

金大の先生とかなごしさんへ

よるにおとうさんがびょういんに行きました。ね
ているときにでん言吉がかがってき、びょうい
んに行ったら、さんきの手じつたと言われてひ
くりしました。金大に行ってみがえしつに行ったら
かなごしさんがもうかしてくれました。ふ
ゆだったのうれしかったアモヤさしくしてく
れたかなごしさん、ありがとうございます。まよ
中に手じつもしておひるまでかかったけ
ど、すつとがんばってくれたおいしゃさん、おと
うさんのいのちをたすけてくれてありがとうご
さいました。まよじつでは、おとうさんがなに
も言ってもしんけんいきいてくれてたくさん
おせわをしてくれてありがとうごさいまは、
今は元気にいっしょにあそんだりあでか



審査員から

緊急手術をした父を救ってくれた
医師、看護師への感謝。
支えてくれた医療スタッフのおかげで、
自分の不安が解消していく様子が
いきいきと書かれている。

お母さんへ

お母さんいつもありがとう。
お母さんは今新かたコロ
ナウイルスがはやっている
中、歯医者でえい生士として、
コロナウイルスにかかるかも
しれないのに、毎日来てくれ
るかん者さんのために、一生けん
めい働いているすがた、す
ごいと思うよ。さいきんは、歯
医者でもかんせん予防でマスク、
フェイスシールドをしてかん者さんのちりょうをしている。ってま
いたけど、お母さんがコロナにかからないかすごく
心配しているよ。

お母さんは歯医者から帰、てく
ると手あらいうがいをして熱を
はかしてから、休お間もなく、ご
はんを作ったり、せんたくものを
たたんだり、わたしたちのし
くだいをみたり、まだ小さい弟
のめんどうをみたり、お仕事
でつかれているのに、家
族のために家の家事をし
てくれるね。わたしは、そ
んなお母さん本当にす
ごいと思うよ。わたしは

そんながんばるお母さん
に感しゅじょうをあけた
いです。これからも体に
気をつけてがんばってね。
わたしも、できるお手伝いを
たくさんみつけてがんばり
たいと思うよ。
お母さんいつも本当にあ
りがとう。 ここなより



感しゅじょう
わたしのお母さんへ
お母さんは、いつも仕
事と家事をがんば、
てくれているので、
感しゅの気持ちで、
はいです。ありがとう。
やのここな

お母さんへ

お母さんいつもありがとう。
お母さんは今新かたコロ
ナウイルスがはやっている
中、歯医者でえい生士として、
コロナウイルスにかかるかも
しれないのに、毎日来てくれ
るかん者さんのために、一生けん
めい働いているすがた、す
ごいと思うよ。さいきんは、歯
医者でもかんせん予防でマスク、
フェイスシールドをしてかん者さんのちりょうをしている。ってま
いたけど、お母さんがコロナにかからないかすごく
心配しているよ。

お母さんは歯医者から帰、てく
ると手あらいうがいをして熱を
はかしてから、休お間もなく、ご
はんを作ったり、せんたくものを
たたんだり、わたしたちのし
くだいをみたり、まだ小さい弟
のめんどうをみたり、お仕事
でつかれているのに、家
族のために家の家事をし
てくれるね。わたしは、そ
んなお母さん本当にす
ごいと思うよ。わたしは

お手伝いけん
お手伝いけん

審査員から

歯科衛生士として日々がんばっている
母への感謝状。
母の健康を心配しながらも、患者さんの
健康を支える仕事に邁進している
ことへの尊敬もあふれている。

中部・東海ブロック

最優秀作品賞

低
学年の部

えびつか あいな
海老塚 愛奈さん(2年)
金沢市立額小学校

中部・東海ブロック

最優秀作品賞

中
学年の部

やの ここな
矢野 心愛さん(4年)
本巣市立弾正小学校

おじいちゃんへ

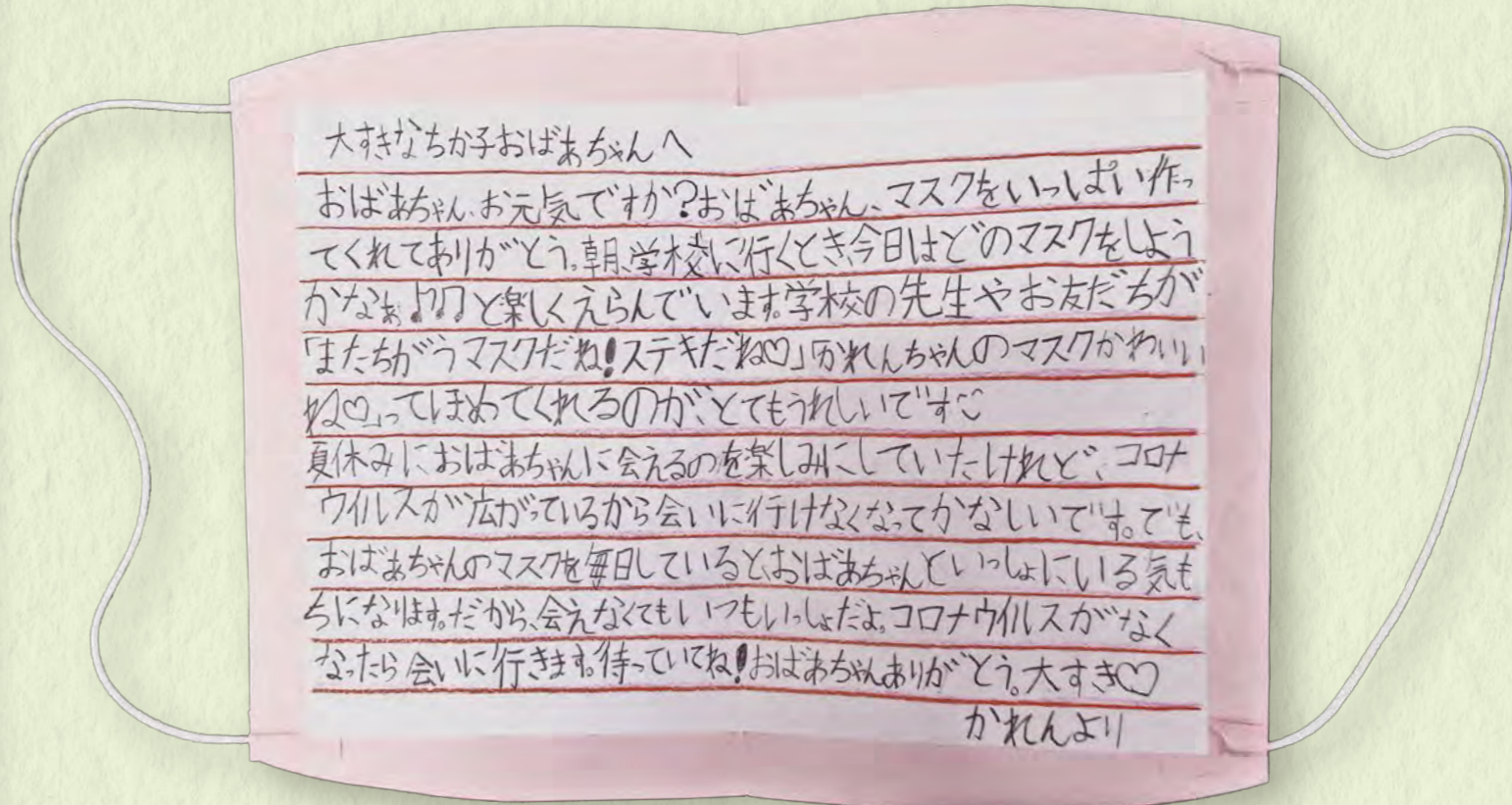
昨日じいちゃんのお墓参りに、じいちゃんが大好きだったビールと色とりどりのお花を持って行ったよ。とって暑かったからキンキンに冷えたビールおいしかったでしょ。毎年お墓参りに行っているけど、昨日初めてじいちゃんかどんな人だったのか、おばあちゃんから色々聞いたよ。積任感がとても強くて曲がったことが大女兼いで、良く言えばカッコイイ男前。でも悪く言えばゆう通が利かない、難しい人だった。でもものすごく優しい人で、いつも自分の事より人の事はかりだった。お母さんと一緒に私を育ててくれたよ。お母さんね、私が泣いて帰ってくると「勉強もスポーツも自分がこれ以上無理でなるまで頑張らなさい。」と言って、勉強も毎日教えてくれて、マラソンも毎日きあってくれた。でも私、すごくつかれて「もう女兼、お母さんなんて嫌い！」って、怒ったんだ。でも段々、「愛ちゃん、

ずいね」って、みんなか話しかけてくれるようになって友達いっはいできたんだ。ある時お母ちゃんから、お母さんが夜中起きてずっと勉強していた事、「もうやめな、倒れるよ。」の言葉に、「愛きとくやしかったと思うから。あの子は、自分からしゃべりかけるの苦手やしね。」と、涙をいっはいにほした事、教えてもらったよ。それを聞いた時、なんでかな、ずいずい胸がスススキして、じいちゃんのものかむいていたお母さんの背中にギュッとくっついたんだ。あたくして、いいにおいかけたの覚えている。じいちゃん、私、お母さんが世界一大好きだよ。けんかもするけど、お母さんがずっと笑顔でいれるよう、次は私が元気でいくね。じいちゃん、ゆう通が利かなくて、強がりでも本当は泣き虫で、優しい、優しいお母さんをうんでくれて、ありがとう。また、お墓参り行くから、待ってね。



一愛より

審査員から
亡くなった祖父への感謝の気持ちを、母を生んでくれたことを通してつづっている手紙。視点が秀逸。とても明るく前向きなさわやかな印象となっている。



大すきなちか子おばあちゃんへ
おばあちゃん、お元気ですか？おばあちゃん、マスクをいっぱい作ってくれてありがとう。朝、学校に行くとき今日はどのマスクをしようかな？と楽しくえらんでいま。学校の先生やお友だちが「またちか子マスクだね！ステキだね♡」かれんちゃん、おばあちゃん、マスクがかわいい♡ってほめてくれるのが、とてもうれしいです♡
夏休みにおばあちゃんに会えるのを楽しみにしていたけれど、コロナウイルスが広がっているから会いに行けなくなってかなしいです。でも、おばあちゃんのマスクを毎日していると、おばあちゃんといっしょにいる気にならなす。だから、会えなくてもいいよ。コロナウイルスがなくなったら会いに行きます。待ってね！おばあちゃん、ありがとう。大すき♡
かれんより



審査員から
手作りのマスクを送ってくれた祖母への感謝の手紙。マスク型のデザインも工夫されていて、誇らしさとおばあちゃんが大好きな気持ちがあふれている。

中部・東海ブロック

最優秀作品賞

高学年の部

向野 一愛さん(6年)
坂井市立加戸小学校

関西ブロック

最優秀作品賞

低学年の部

楠田 佳蓮さん(2年)
京都女子大学附属小学校

僕の歯へ 4-1-9 土倉侑空

僕とキミが初めて出会ったのは、0才5月
そう考えると、9年5ヶ月もいっしょにいるんだね。
じょうぶな歯に成長してくれてありがとう。食べる時や
しゃべる時など、とても役立っているよ。
いつも食べたあとは歯をみがいているけど、みがきみか
けているかな。みがきしていないと、虫歯になって
いたくなってしまうね。だから、食べたあとは、みがき
歯をみがかないと、キミを守れないね。

ところが、先日、悲しい知らせがあったね。キミたちの仲間
の一人がある日、ぐらぐらし始めたんだよ。その日は、
ほろの大女子牛乳のからあげを食べていたら歯が
グニャと曲がったんだ。そこから、さわるもいたくて、
いたくて、お母さんに言うと、おじさんの歯医者連れて行か
れたよ。おじさんは歯を見るなり、「あ、このお、ぬいぬい」
と言って、あ、い、間に、ぬ、ぬ、い、て、ま、った、んだ、あ、れ、は、
とても悲しい知らせだったね。でも僕は、ぬけた歯を見て、
大切なことわかったんだ。こんな小さな歯が、ほく
の体を守っていてくれたんだね。本当にありがとう。
だから、ほくも大きな歯をみる歯医者になるよ。

これからも長いときあいに
ずっとずっと になりそつたね。よろしくね。

審査員から
歯を大切に思う気持ちを
独特の視点でつづった手紙。
歯をきっかけに広がる感謝の気持ちが
流れるような文章で書かれ
一気に読まされてしまう。

関西ブロック
最優秀作品賞 中 学年の部 土倉 侑空さん(4年) 智辯学園和歌山小学校

パパへ
単身赴任でいないパパ。
いつもビデオ電話で顔を合わせていた
けれど、小さいころはさみしかった。
たまに休日に帰ってくる時、たくさん遊んで
くれたね。パパが帰る時には、毎日
大喧嘩だった。
今回のコロナで四ヶ月程、家族四人で過ごし
た時間は、パパのいなかった、六年の穴をうめ
られた気がしたよ。
毎日一緒にごはんを食べた時間、勉強を
教えてもらった時間、ぬり絵や工作、夕方に
ランニングをした時間、充実した毎日だったね。
8月から香港へ行ったパパ。
にぎやかな毎日から、また一人になって、
の隔離生活、さみしくないかな...
そんな中でも、パパは電話をしやすく出て
くれるし、勉強やパソコンを教えてくれる。
どれだけはなれていても、Eメールでつなが
れるからよかったですね!!一緒に色々できる訳
ではないけれど、パパと過ごす時間は
楽しいよ。
家族の為に

Thank You!

坂下 鈴奈



審査員から
単身赴任をしている父への手紙。
思いがけず父と一緒に過ごすことが
できた時期と、再び遠く離れた
今の気持ちを対比しながら、大切な
家族への思いを表現している。

関西ブロック
最優秀作品賞 高 学年の部 さかした れいな 坂下 鈴奈さん(6年) 京都教育大学附属京都小中学校

天国のひいおばあちゃん、ありがとう。
 ちくのPTAのほちせいらに
 いきました。はじめは、ちうしやじょう、
 とうりみちのく、ちぬきました。
 だ、い、ぶ、きれいになり、おにいちゃんか
 「じぶんのいえのおはかも、きれいに
 しよう」といいました。おかあさんが
 えが「お」になりました。わたしは
 ゆのみちあらって、くさをぬきました。
 おかあさんが、「ひいおばあちゃん
 よろこんだね」とえが「お」になり
 ました。かえって、おじいちゃん
 おはあちゃんにはなしたら、「ありがとう」
 とえが「お」になりました。
 みんなをえが「お」にするひいおばあちゃん
 あったよ。はなれいけい、大好きです。わたしは
 手を上げて、「ありがとう」といいました。おや

審査員から
 ひいおばあちゃんのお墓掃除をしたことを
 通して感じた気持ちを素直につづった作品。
 母や祖父母を笑顔にしてくれることへの
 感謝という、新鮮な視点に
 豊かな感性を感じる。

中国・四国ブロック

最優秀作品賞 低 豊郷 心優さん(1年)
 学年の部 松前町立松前小学校

おばあちゃんを支えて
 くれるスタッフさんへ

デイサービス
 おふろに入れてくれたり
 リハビリをしてくれたり、
 ゲームをしてくれたりして
 ありがとう。毎回もらう
 デイリー新聞に笑顔の
 おばあちゃんかうつ
 ているうれし
 いです。

ケアマネさん
 お母さんかかいて
 なやんでいる時、電話すると
 すぐにかけてつけてくれて、
 ありがとう。私のことも
 考えてくれてありが
 とう。

往診の先生
 先生がおうちに来てくれるよ
 になて、お父さんが仕事を
 休まなくてよくなったよ。
 先生の「OK!!大丈夫よ」を
 聞くと、ほんと一安心
 します。ありがとう。

ショートステイ
 他にも行く方があるのに、
 夜中に何回も起きるおばあちゃん
 の相手をしてくれてありが
 とう。ショートに行っている間は
 お母さんとおかしやごはん
 が作れて楽しいです。

訪問者ごさん
 おばあちゃんかこけた時
 夜だったのにすぐきてく
 れてありがとう。小さな
 きずにも気がいられて
 すごいなあと思います。

支えてくれてありがとう♡
 私もコロナを家にもって
 かせられないように頑張り
 ます。 夏実より

審査員から
 おばあちゃんを支えてくれる職員の方への手紙。
 一人ひとりを驚くほどよく見ており、
 その優しさや心づかいへの感謝を
 丁寧に書いている。
 職員の方の絵からも気持ちが伝わる。

中国・四国ブロック

最優秀作品賞 中 保手濱 夏実さん(4年)
 学年の部 呉市立白岳小学校



犬のジジへ

初めて会った年長の時、先生は初めての環境が苦
手な私に「入学式特まるね」と優しく言った。不安な
気持ちで学校に着くと正門で「よき果だね」と言
入学式の時も横にいて、友達に名前を聞かれて困った時
も「詩歌を覚えていこうんだよ、仲良くしてね」と言ってく
三、四年で友達と遊ぶつらい時も、先生と勉強や遊べて楽
しかった。

五年で学校に行けず苦しい時も、毎日に会に来
てくれて私を信じてくれたこと、嬉し
かったよ。三月コロナで学校行けない
時、四月から転校できるよ、新しい
学校は詩歌を守ってくれるよ、
先生も四月からは新しい学校だ
同じだね」と言ってくれ、私を抱きしめ
「詩歌なら大丈夫、人は幸せに
なるために生きて、泣いた分
だけ強くなれて、その分たくさんの人へ優しくで
きるんだよ」と言ってくれて本当にうれしかった。
今度私は私が「六年間心の支えになってくれて
ありがとう」と伝えに行くから。

「大好きだよ」
「大坪和子先生ありがとう」
「優しいかより」



審査員から

6年間支えてくれた
大坪先生への感謝の気持ち。
先生の言葉を自分の財産としている
様子がとてもよく伝わってくる。
自分を見る客観的な視点もよい。

中国・四国ブロック

最優秀作品賞

高学年の部

大内 詩歌さん(6年)
高知県立高知江の口特別支援学校

犬のジジへ

ジジはあまえんぼうで、さみしがりやだか
ら、いつも足もとのじゃまになるとこにいる
よね。ふみそうになる。あたしとおねえち
ゃんが家の中ではしると、わたしにだけ何でか
みつきにくるの。わたしのときらいただから
かみつきにくるのかと思ってたよ。

でも、わたしのことをかむのは、きらいな
んじゃなくて友だちだと思ってるんだと気が
ついたよ。この前おとうさんにいじわるされ
てないでいたら、おとうさんにおこってかみ
つきに行ってくれたからびっくりにしたよ。

「ぼくの友だちをなかせるな」と
と、言うてるような感じがして、すごくう
れしくなっちゃったよ。

ジジがうちに来てまだ一年はんしかたって
いないんだけど、ジジはいじわるじゃなくて
やさしい子だとわかった。これから長生きし
てわたしをまもってね。ジジが足もとをウロ
ウロしても、じゃまだと思わないでやさしく
するようにするね。ありがとうね。

審査員から

犬のジジへの感謝の気持ち。
一人の家族としてやんちゃぶりに困ったり、
味方になってくれたりと、
通じあっている二人の様子が
ほほえましく描けている。

九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

低学年の部

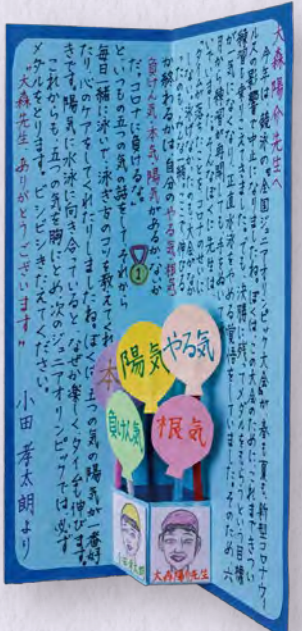
木村 喜さん(2年)
熊本市立託麻東小学校

大森陽介先生へ

今年、競泳の「全国ジュニアオリンピック大会」が、春も夏も、新型コロナウイルスの影響で中止になりましたね。ぼくは、この大会のために、これまできついで練習も乗りこえてきました。でも、決勝に残ってメダルをもらおうという目標が、一気になくなり、正直水泳をやめる覚悟をしていました。そのため、六月から練習が再開しても、手をぬいて泳いでいました。そんなぼくに先生は、「タイムが落ちたことを、コロナのせいにしてはいけません。泳ぎ方のコツを教えてください。ぼくは、五つの気の陽気が一番好きです。陽気に水泳に向き合っていると、なぜか楽しくタイムも伸びます。これから五つの気を胸にとめ、次のジュニアオリンピックでは必ずメダルをとります。ビシビシきたえてください。」



小田孝太郎より



審査員から

水泳の指導をする大森先生への手紙。落ち込む自分を励ましてくれたことを、見事な文字と文章で描いている。形状の工夫によって、先生の言葉の重みを印象づけている。

九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

高学年の部

小田孝太郎さん(5年) 北九州市立足立小学校

お父さんにありがとうを伝えたい。毎日セミが鳴く音が聞こえるね。お父さんも聞いていますか。たくさん思い出がある。ありがとうを伝えるね。自転車で乗れない私に、毎週公園に連れて来てくれるようにしてくれたね。お父さんがいるから出来るようになったよ。カレートの作り方をノートに書いて、何度もいっしょにつく。たね。お父さんの味付けは、とてもおいしかったよ。電車に乗って、パンケイのお店に連れて行って。くれたね。すごくうれしかったよ。お父さんと乗るブランコは楽しくて、遊んでいたよ。たね。まだまだ私が大人になっても、たくさん思い出を作りたい。たね。でも、お父さんとすこした日は、いつまでも私の心の中にあるよ。毎日、お線香をあげながら、これからはたくさん伝えるよ。お父さんありがとう。

審査員から

亡くなった父への手紙。一緒に過ごした楽しい思い出がつづられていくなかで、父が心の中で生きている姿を感じる。最後の一節で亡くなっていることがわかりはっとさせられる。

九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

中 学年の部

林空菜さん(4年) 宇美町立宇美小学校

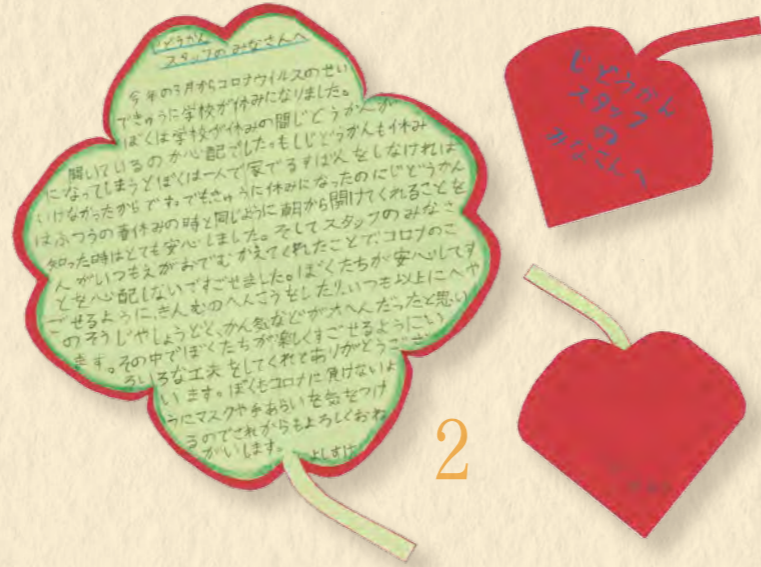
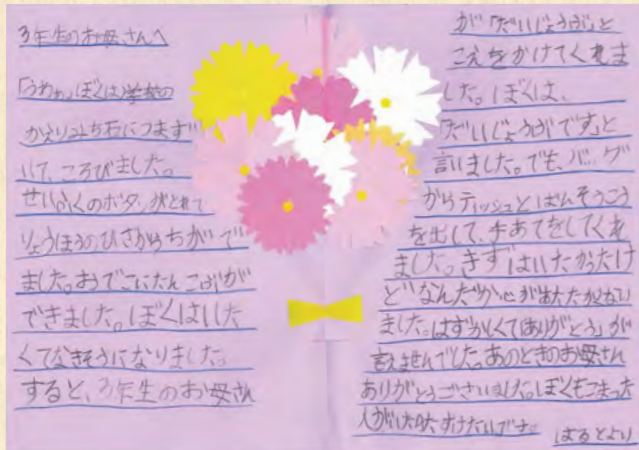
審査員特別賞

北海道・東北ブロック

審査員特別賞

関東1ブロック

1

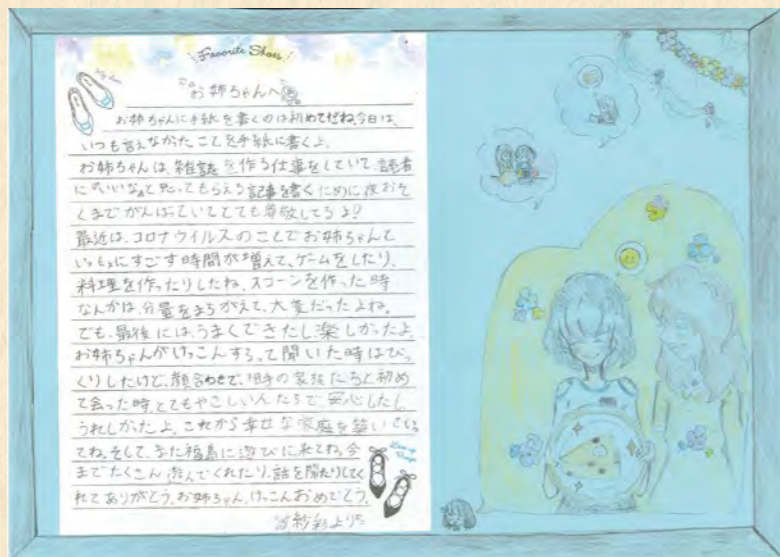


2

3



4



5

1

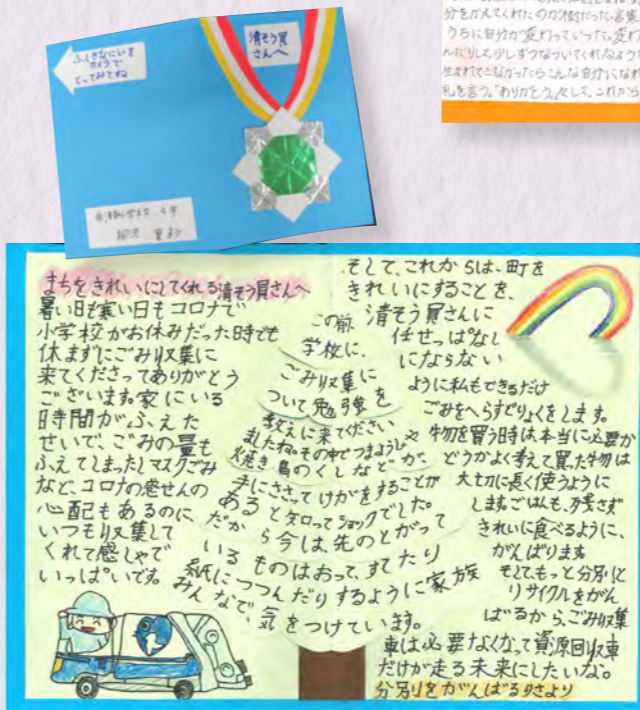


2

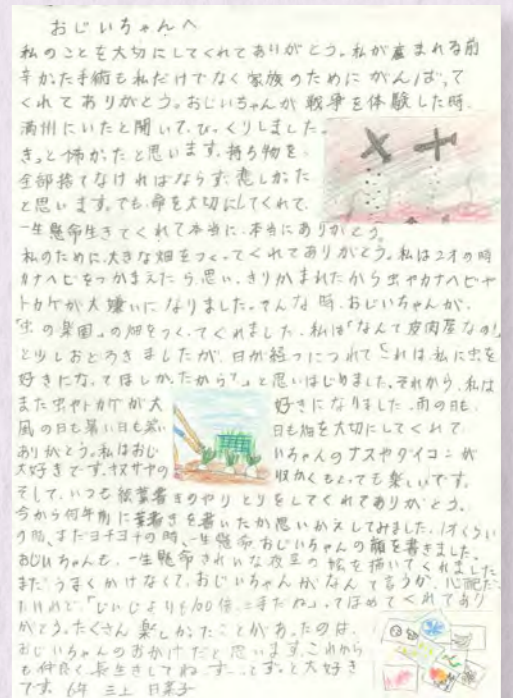


3

4



5



1 齋藤 陽斗さん(2年)
桜の聖母学院小学校

2 小関 義恭さん(3年)
白石市立白石第一小学校

3 松本 護也さん(4年)
新潟市立亀田東小学校

4 鈴木 苺果さん(5年)
釧路町立別保小学校

5 矢野 紗彩さん(6年)
桜の聖母学院小学校

1 田中 愛梨さん(1年)
相模原市立小山小学校

2 上原 ゆりさん(2年)
横浜市立上郷小学校

3 渡邊 ほんのかさん(4年)
横浜市立平戸小学校

4 柳沢 凜彩さん(4年)
横浜市立南瀬谷小学校

5 三上 日菜子さん(6年)
杉並区立荻窪小学校

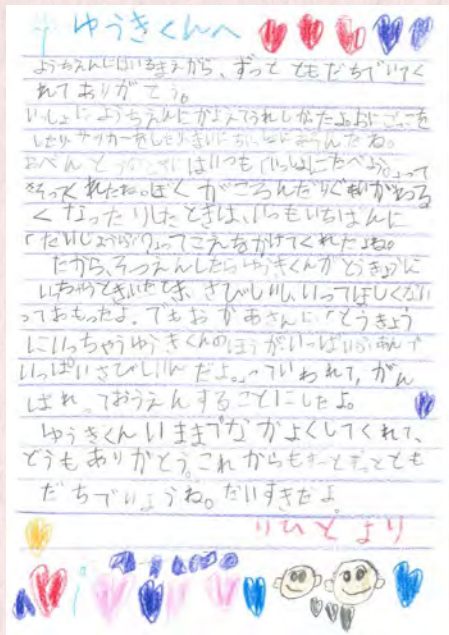
審査員特別賞

関東2ブロック

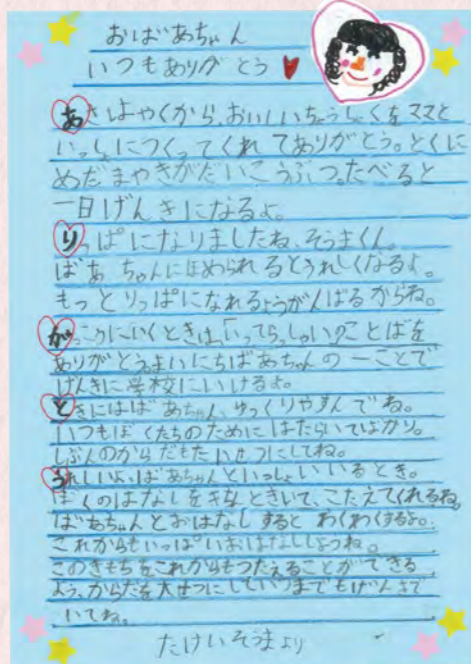
審査員特別賞

中部・東海ブロック

1



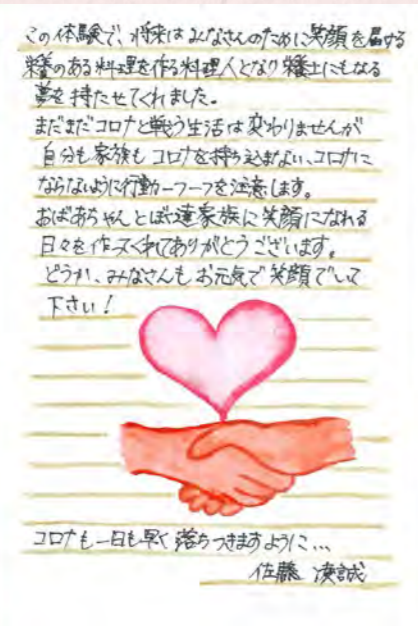
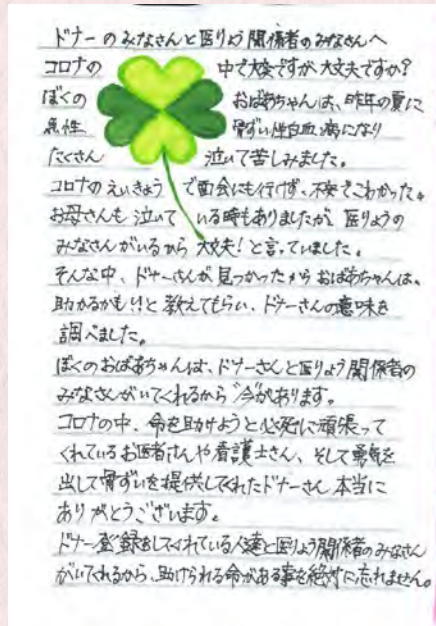
2



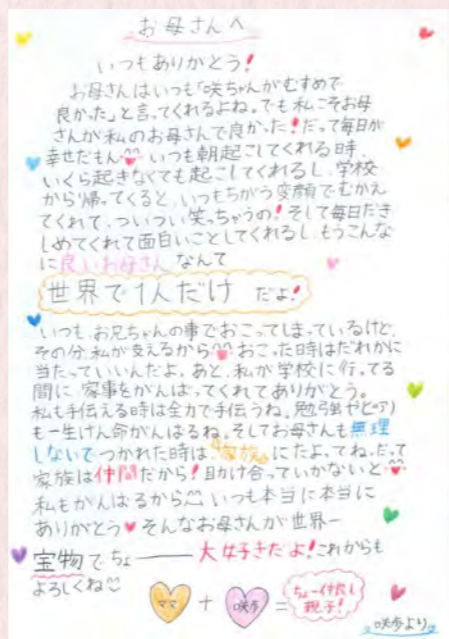
3



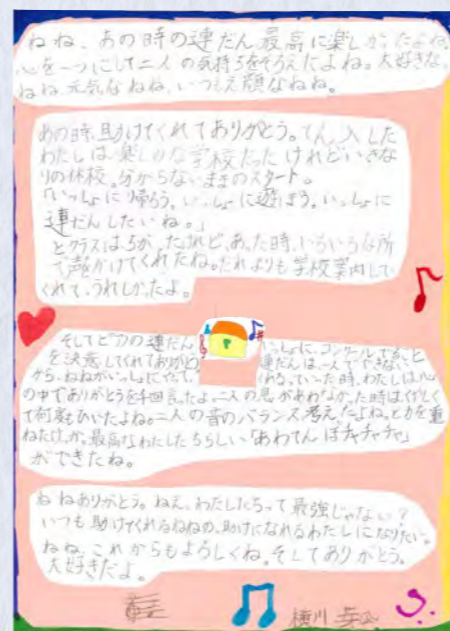
4



5



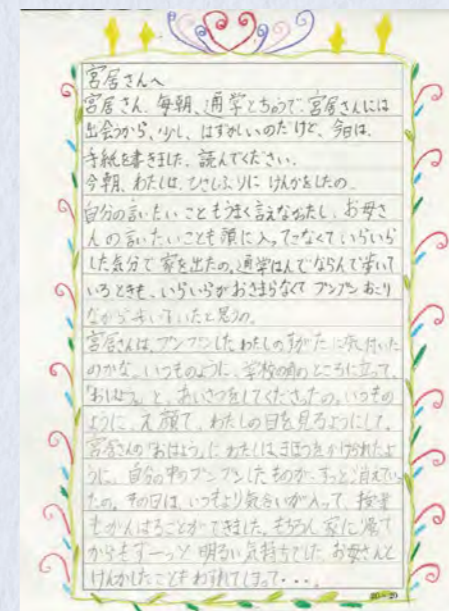
4



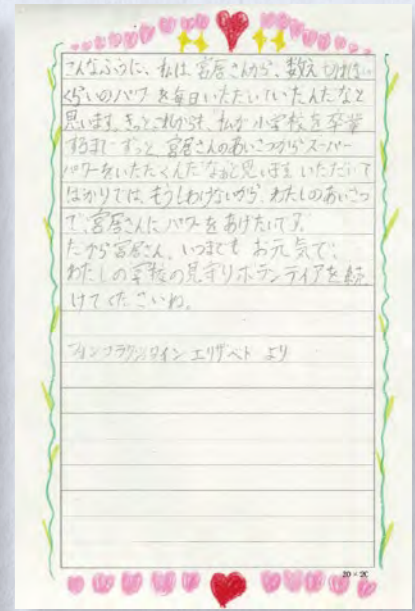
2



3



5



1 やくち りひと 矢口 理人さん(1年) つくば市立大曾根小学校

2 たけい そつま 武井 奏磨さん(1年) 桜川市立岩瀬小学校

3 せきぐち はるのり 関口 陽紀さん(4年) 千葉市立緑町小学校

1 くらべ ひな 卜部 陽菜さん(1年) 金沢市立緑小学校

2 いしじま りょう 石嶋 涼さん(2年) 静岡市立井宮小学校

3 みやま たくみ 宮山 巧海さん(3年) 岡崎市立大門小学校

4 さとう りょうせい 佐藤 凌誠さん(5年) 筑西市立大田小学校

5 いずみ さきほ 和泉 咲歩さん(6年) 千葉市立緑町小学校

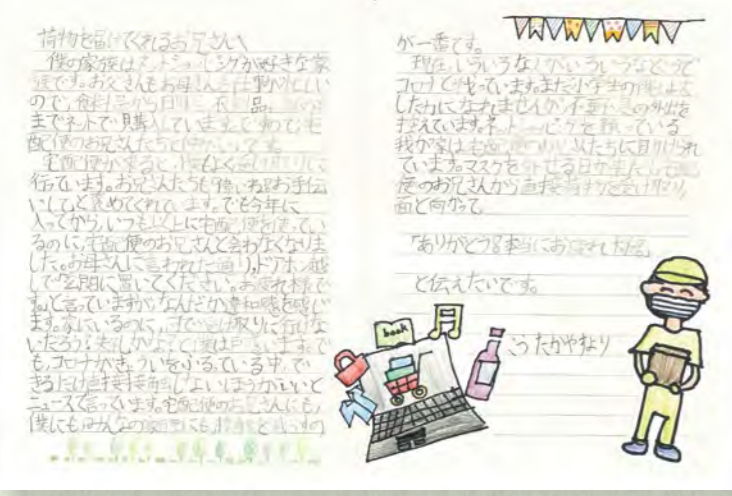
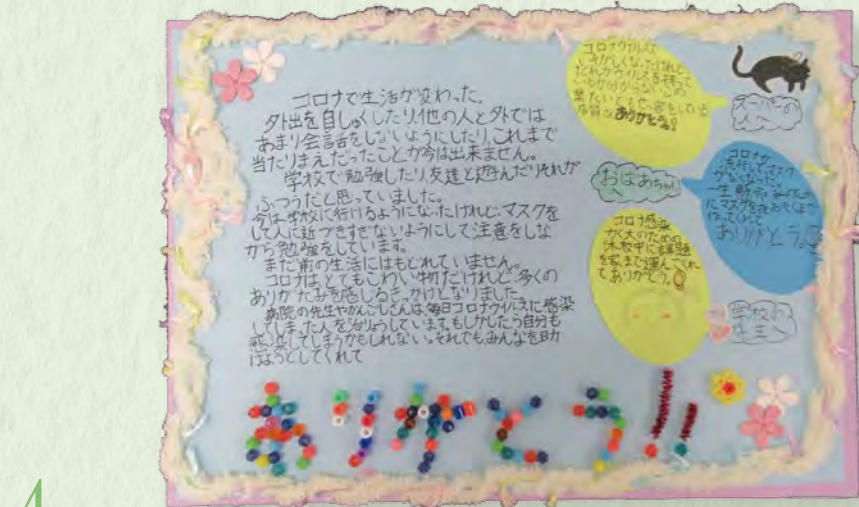
4 よこかわ めいな 横川 芽凧さん(4年) 岡谷市立長地小学校

5 フォン・フラクシュタイン・エリザベト・リディア・クララさん(5年) 山口市立伊自良南小学校

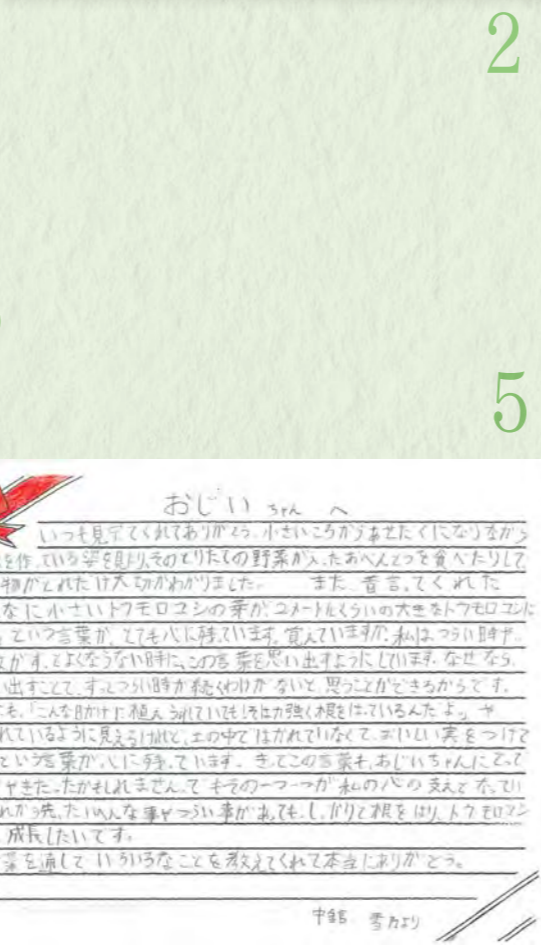
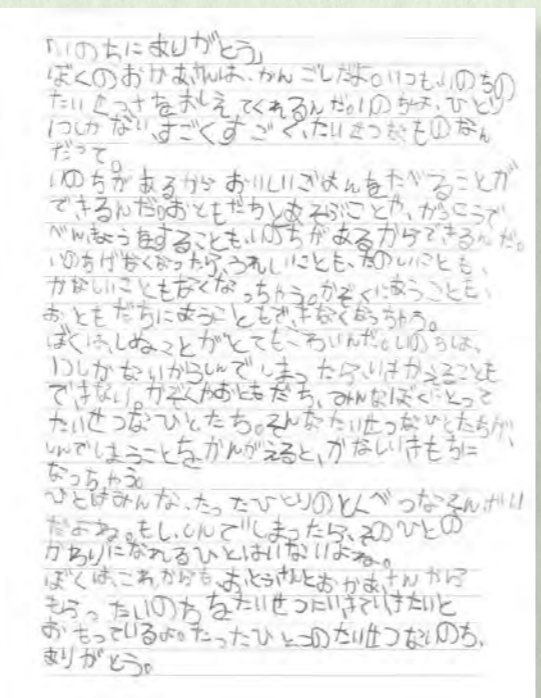
審査員特別賞

関西ブロック

1



1 侯 博康さん(1年) 智辯学園和歌山小学校
2 小林 諒陽さん(1年) 姫路市立城西小学校
3 島津 心温さん(4年) 草津市立矢倉小学校
4 侯 峻康さん(4年) 智辯学園和歌山小学校
5 中館 雪乃さん(6年) 和歌山市立八幡台小学校

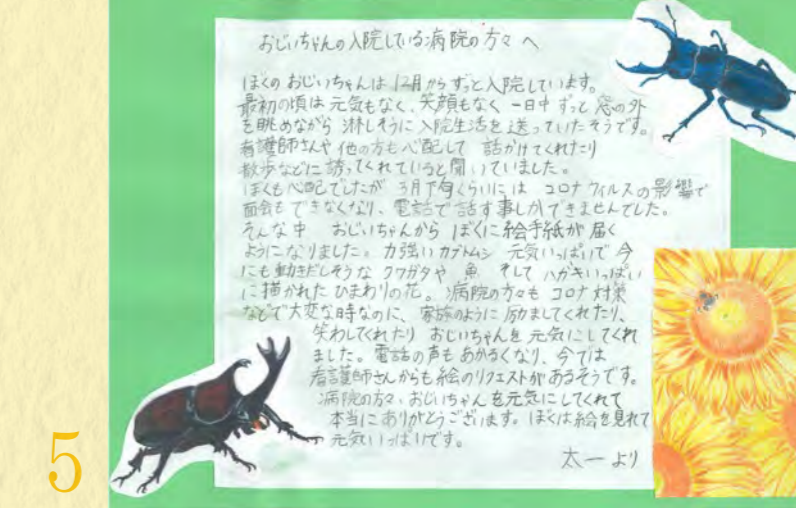
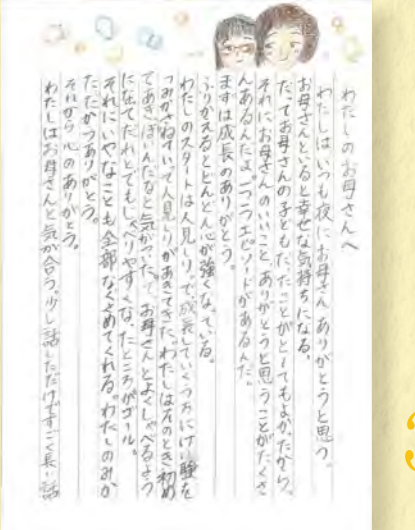
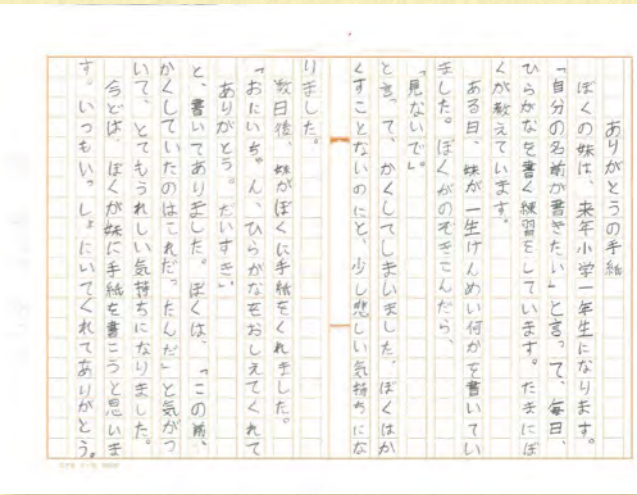


4 又 院 中 の おばあちゃんへ
5 おじいちゃんへ

審査員特別賞

中国・四国ブロック

2



1 松田 紗央莉さん(1年) 香川大学教育学部附属高松小学校
2 寺岡 優希さん(3年) 鳥取市立城北小学校
3 篠原 紬さん(4年) 東みよし町立茂茂小学校
4 山口 心愛さん(6年) 徳島文理小学校
5 福本 太一さん(6年) 真庭市立勝山小学校

審査員特別賞

九州・沖縄ブロック

1



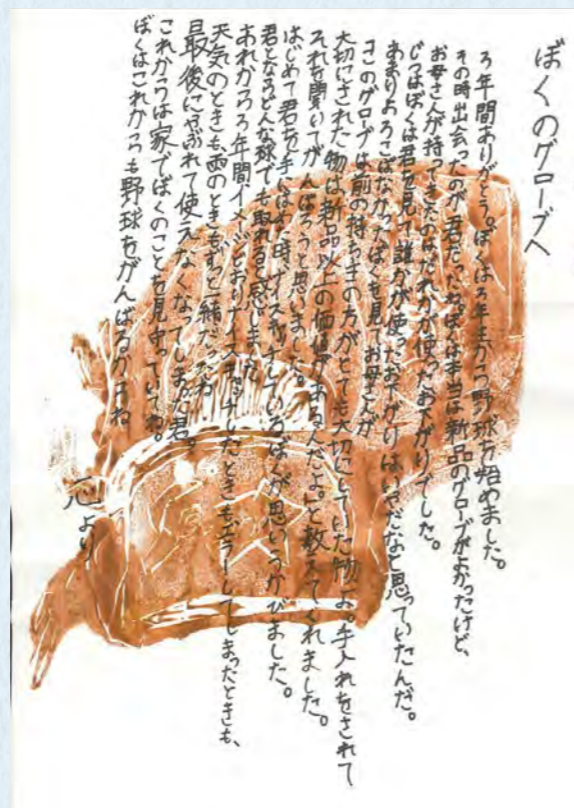
2



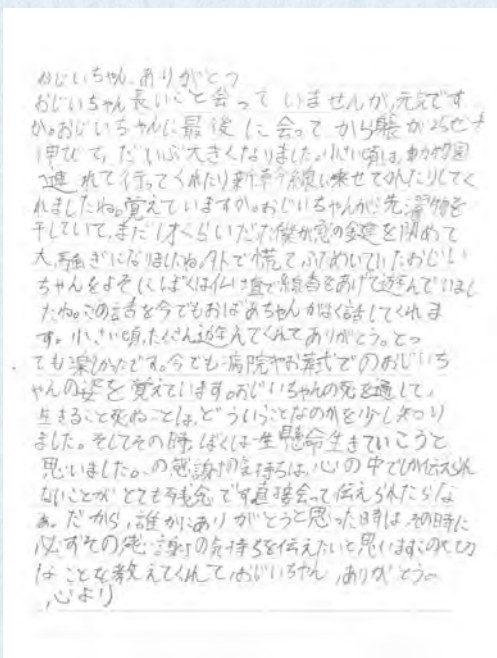
3



4



5



1 山王 香穂さん(1年)
大野城市立大野南小学校

2 井上 和奏さん(2年)
霧島市立国分小学校

3 甲斐 宗汰郎さん(3年)
熊本市立託麻東小学校

4 松本 一心さん(6年)
宇土市立宇土小学校

5 松元 心さん(6年)
日置市立伊集院小学校

北海道 東北 ブロック
福島県 二本松市立
塩沢小学校

れいねん そふぼ かたがた がっこう しょうたい かん
例年祖父母の方々を学校に招待する「感謝の会」。しかし、今年にはコロナ禍で、おじいちゃんやおばあちゃんをお招きできず、代わりにサプライズで感謝の手紙を届け、本コンテストにも参加しました。受賞の喜びを励みに、これからも子どもたちから「ありがとう」を発信し、心あたたまる地域づくりに貢献したいと思います。

関東 1 ブロック
神奈川県 川崎市立
大谷戸小学校

さくねん ひと がくねん とく
昨年是一个学年の取り組みでしたが、さまざまな面で困難な状況にある本年度は普段伝えられないいろいろな人へ感謝の気持ちを伝えようと、全学年で取り組みました。子どもたち一人一人が自分の言葉で感謝の気持ちを表現する大きな機会になりました。今後も感謝の心あふれる学校を目指し努力してまいります。

関東 2 ブロック
埼玉県 久喜市立
鷺宮小学校

たび がっこうだんたいしょうじゅうしょう
この度は学校団体賞を受賞させていただき、大変光栄に思っております。これも、子どもたちのコロナに負けない強い気持ちと教職員の日ごろからのきめ細やかな指導の成果ととらえております。また、本校の教育活動に日ごろからご理解ご協力をお願いしている家庭・地域の皆さまのおかげと感謝しております。

学校団体賞

応募していただいた全1,451校・団体から選ばれた7校・団体です。受賞した学校から校長先生のコメントをいただきました。

校長先生のコメント

関西 ブロック
兵庫県 姫路市立
城西小学校

ほんごう がくりょくこうじょう どうとく とくべつ
本校は、学力向上だけでなく、道徳や特別活動の充実にも取り組んできました。「ありがとう」という美しい日本語に日々触れ、感謝の心を表すことは、人間形成の根幹に関わる大切な部分と認識していますので、受賞をうれしく思っています。

中国 四国 ブロック
徳島県 徳島文理小学校

こんねんどう がっこうだんたいしょう めいよ しょう
今年度も、学校団体賞という名誉ある賞を授与していただき、誠にありがとうございます。感謝の心をもち、その輪を広げていくことにより、よりよい社会の構築につながるものと考えています。今後とも、本校教育にこの心を位置づけ、子どもたちの人格形成に結びつけてまいります。

九州 沖縄 ブロック
熊本県 熊本市立
泉ヶ丘小学校

がっこうだんたいしょうじゅうしょう ほんご におも
学校団体賞の受賞を本当にうれしく思います。学校全体で「ありがとう」の取り組みを始め、3年が経とうとしています。その集大成として2年ぶりに受賞することができ、子どもたちとともに喜びたいです。今後とも自分も含め、自分の周りに感謝する気持ちを大切に、学校運営をさらに進めていきたいと考えています。

ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとして 地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

*新型コロナウイルス感染症拡大により、一部取り組みを自粛・変更しています。



「ありがとうの手紙コンテスト」

子どもたちの健全な成長、豊かな心づくりを目的とした次世代育成の取り組みです。2009年からスタートして累計39万通の「ありがとう」が全国から寄せられました。また、2019年度からは文部科学省後援事業となった他、過去の受賞作品5作品が道徳の教科書(2018年度)に掲載される等、学校教育にも貢献しています。全国21名の最優秀作品賞受賞者の表彰式は、受賞者が通う小学校で、ご家族や近隣店舗の店長、ファミリーマート社員が参加して開催されます。「感謝の気持ち」は人と人とのコミュニケーションの基点となり、地域社会の活性化へと寄与します。今後も本コンテストを通じて、地域の学校と連携を深めながら、子どもたちを応援するとともに持続可能な地域社会づくりに貢献していきます。

ファミマ子ども食堂

店舗内のイトインスペースを活用し、近隣の子どもたちやご家族の皆さまが食事を一緒にしながら楽しく交流する機会をご提供しています。一部の店舗では、食事に加えて、レジ体験やお店の裏側を見学する体験イベントを実施しています。今年度は店舗と家庭をオンラインでつないだ「デジタル子ども食堂」に変更して実施しました。ファミリーマートの店舗がそれぞれの地域にあわせて、地域社会の一員として子どもたちの成長を見守っています。



子ども店長



「子ども店長」は、実際の店舗でお店の職業体験ができる取り組みです。本物のユニフォームを着用して、レジを操作したり商品を並べたり、いつもは入れない店舗の裏側を知る等、店舗のお仕事を楽しみながら学ぶ体験学習の機会を提供しています。

職場体験／出前授業／企業訪問受け入れ

中学生や高校生を対象に、ファミリーマート社員が学校に赴いて行う出前授業や、生徒の皆さんが来社する企業訪問の受け入れを行っています。「コンビニエンスストアならではの商品・サービス」「環境への取り組み」「店舗の取り組みを通じてSDGsを具体的に考える」等、授業内容は学校や生徒の皆さんの課題にあわせて実施しています。今年度は、オンラインで学校とつなぐ出前授業の取り組みも実施しました。



おうちでたのしいWEBコンテンツ

子どもたちが自宅等で気軽に楽しめる無料コンテンツとして、オリジナルぬりえやクイズをホームページで公開しています。

ファミリーマート 夢の掛け橋募金

店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」は、募金していただいたお客さまと、社会的活動を行うNPO/NGO団体との「掛け橋」になり、地球と子どもたちのために活動したいという思いからスタートしました。1993年からの累計金額は約69億円となり、お預かりした募金は企業寄付を加えて3団体に寄付し、次世代育成支援・環境保全の5つの事業に役立てられています。また、災害時には被災地支援募金として被災地にお届けしています。



株式会社ファミリーマート
(マッチングギフト*)

ファミリーマート
夢の掛け橋募金



寄付先と主な事業

- 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
 - 子どもの防災・減災教育支援
 - SDGs: 教材普及の支援
- 公益社団法人 国土緑化推進機構
 - 森の教室事業
 - 聞き書き甲子園事業
 - 子どもたちの未来の森づくり事業
- 特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会
 - ミャンマー 学校給食支援

ファミリーマートの募金累計総額 **69億575万8,584円**

(1993年～2020年10月末現在) 店頭募金・企業寄付・Famiポート募金、義援金などを含む。

*マッチングギフト…企業寄付として募金総額に対して、一定の比率を掛けた金額を上乗せして寄付しています。

森の教室

国土緑化推進機構が主催する「森の教室」を「夢の掛け橋募金」によって支援しています。森のすばらしさ、森が果たす役割を園児が学ぶことができる全国循環型のプログラムです。自然の大切さを学んだ後、園児が植えて大切に育てたどんぐりの苗を植樹するところまで行きます。2012年から始まった「森の教室」の開催回数はこれまでに270回を超え、約2万7千人の幼稚園児が参加しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度はオンラインで開催を実施しています。



国連WFP学校給食支援



2020年度ノーベル平和賞を受賞した国連WFPの「世界の飢餓を撲滅する」ための活動に、2006年から「夢の掛け橋募金」の一部を寄付し、継続的に支援しています。また2016年からは、「ミャンマー連邦共和国における学校給食支援」を中心に、ミャンマーの子どもたちの栄養改善を支援しています。

セーブ・ザ・チルドレン 「ひとり親家庭応援ボックス」

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い収入が減少したひとり親家庭を対象に、子どもたちの食の状況改善や遊びの機会確保を目的とした支援活動「ひとり親家庭応援ボックス(食料品や遊具の提供)」に、「夢の掛け橋募金」を通じて協力しました。

セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する拠点として、子どもたちを見守るお手伝いをしています。

フードバンク

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、休校期間が延長して給食が食べられない子どもたちや、生活環境の変化に伴いご家庭で食事ができない方々への食品支援に役立つことを目的に、セカンドハーベスト・ジャパンを通じて、7万個の焼き菓子を提供しました。